

# クローズアップ NGO・NPO

障害分野NGO連絡会

JANNET

事務局長 上野 悦子

## 障害と開発への取り組み

### JANNET誕生の背景

障害分野での国際協力というと、JICAから委託を受けた集団研修の実施やプロジェクトが主な活動でしたが、1992年に障害者の全国大会で、国際協力の分科会があり、そこで約20の団体が活動報告を行いました。その結果、情報不足や人材不足といった共通する課題を持っていることがわかり、恒常的なネットワークが必要ではないか、ということで準備会議を経て、1993年12月にJANNETが設立されました。

### 現在の状況

JANNETは、35の団体会員と個人の会員に支えられています。団体会員の内訳をみると、障害者団体、専門職団体、障害者支援団体、国際協力・交流に障害を含めている国際活動を行う団体などで、個人会員にはさまざまな国際活動に携わっている人たちが名を連ねています。主な活動は情報交換と研究会開催です。毎月発行しているメールマガジンでは障害者権利条約、国際会議、セミナーなどのあらゆる国際的な障害関係の情報を提供しており、最近ではFacebookからも情報提供を行っています。JANNETはJANIC（国際協力NGOセンター）に加盟することで、一般分野の国際的活動を行う団体と関わるようになり、障害への理解を深めてもらう機会を持つようになりました。

### 研究会とCBR

JANNETは年に3～4回の研究会を開催して

います。ICF（国際生活機能分類）のようにその時々話題をテーマとして取り上げたこともありますが、初めから重要視してきたのがCBR（地域に根差したリハビリテーション）です。途上国で障害のある人と家族の生活の改善のためにはCBRを理解することは不可欠との見方から、CBRの理念、具体的活動について、経験者から共有してもらう勉強会を開催してきました。来日した海外の著名なCBRの専門家を講師に迎えることもあります。



2011年研究会の様子。講師は社会福祉法人むそうの理事長、戸枝陽基さん

### 地域社会開発への理解と現地訪問

CBRの定義には「～地域社会開発の一戦略である」と書かれていますが、地域社会開発というのは日本では理解されにくいことからJANNETの研究会でも取り上げるようになりました。海外ではバングラデシュで、開発を行っている組織が障害を組み込むことを支援するNGO、CDD（開

発における障害センター) から代表者を招いて、2005年、2007年、2008年に日本で講演していただき、2008年にはバングラデシュの現場を訪問しました。2010年にはインドのバンガロールでCBRの見学を行い、現地の関係者と交流をしてきました。

## ■ CBRガイドライン

2010年にWHOなどによってCBRガイドラインが作られました。保健、教育、生計、社会、エンパワーメントの領域が包括的にカバーされたCBRガイドラインでは、CBRの目的は、CBID (コミュニティに根差したインクルーシブ開発) であること、CBRは貧困削減のために重要であることが主張されています。CBRガイドラインが作られる過程で、CBRマトリックスが開発されました。これは地域社会、事業所の活動、個人の人生の充足度を診断するツールとしても使えると考えています。

## ■ CBRアジア太平洋ネットワークの設立とJANNETの参加

2009年にバンコクで、タイ政府、WHO、JICA、APCD (アジア太平洋障害者センター) などにより第1回アジア太平洋CBR会議が開かれました。多くの実践者が集まる機会となりました。この会議の成果により、アジア太平洋地域でのCBRネットワークが設立されました。日本からは長年CBRを勉強してきたJANNETが加盟することになりました。現在では37の国と地域が参加しています。このネットワークの目的は、CBIDの推進であると、明確に打ち出されています。会長はパキスタンのグーラム・ナビ・ニザマニ。事務局はバンコクにあるAPCDに置かれています。

## ■ CBIDは今の日本にこそ必要

今の日本では制度のはざまにおかれて社会的に孤立する人が増えてきて、従来の福祉サービスでは複雑化した社会のニーズに十分対応できなくなっています。そのような社会の状況を打開しよ

うと、先駆的な取り組みも始まっています。半田市にある社会福祉法人むそう・NPOふわり、名古屋で活動を開始した一般社団法人草の根さえあいプロジェクトがそうです。いずれも今の日本の閉塞した社会にチャレンジする活動で、JANNETは関わりをもっています。

## ■ 今後JANNETが目指すこと

2015年9月はじめに、第3回アジア太平洋CBR会議を東京で開催することが決まりました。会議の共催団体は、CBRアジア太平洋ネットワーク、JANNET、JANNETの事務局である (公財) 日本障害者リハビリテーション協会です。テーマは、「ポスト2015年の開発課題とCBID」です。この会議では、2015年までのミレニウム開発目標 (MDGs) 後の新たな開発の枠組みとして、アジア太平洋の視点に基づく活動を提示することもねらいとしています。そのため国内外のCBIDの事例収集を今から開始しています。

この会議開催によって共感する国内外の団体や個人とさらにつながりたいと思います。JANNETの今後のあり方、活動方針を含めて発展する好機ととらえたい、と考えています。



グローバルフェスタに出展中